

福島県

令和元年度 健康づくり事業実績

健康長寿ふくしま会議

◆設立総会【平成31年3月22日】

全国に誇れる健康長寿県の実現を目指し、県及び健康づくり関係団体の計37団体が設立総会を行いました。

開催場所：福島市（杉妻会館） **構成団体：**37団体（県及び健康づくり関係団体）



トップセミナーの開催

◆健康経営トップセミナーの開催【令和元年7月31日】

県内事業所に健康経営の意識醸成を図るため、企業経営者等に向けたトップセミナーを開催しました。

- ・ **開催場所：**郡山市（ホテルハマツ） ・ **参加者：**約200名（企業経営者及び人事責任者等）
- ・ **基調講演：**東京大学未来ビジョン研究センター特任教授 古井祐司 氏
- ・ **パネルディスカッション**

井出副知事、大槻博太氏（大槻電設工業代表取締役）、橋本直子氏（須賀川瓦斯代表取締役社長）、陰山正弘氏（陰山建設代表取締役）



◆健康長寿ふくしまトップセミナーの開催【令和元年8月6日】

県内市町村に健康づくりの重要性について、認識の一体化を図るため、市町村長向けトップセミナーを開催しました。

開催場所：福島市（グリーンパレス） **参加者：**63名（市町村長及び副市町村長等）

講演：知事、県立医大健康増進センター長



地域・職域連携推進部会の開催

◆地域・職域連携推進部会の開催【令和元年5月28日】

新たな推進体制の下での第二次健康ふくしま21計画の見直しや、地域保健と職域保健の連携強化のための意見交換等を行いました。

開催場所：福島市（福島県庁）

対象：委員24名（公募委員、学識経験者及び地域職域団体）

協議内容：第二次健康ふくしま21計画の見直し
各地域・職域団体の健康づくりの取組状況等

健康ふくしま21評価検討会

令和元年5月28日開催の地域・職域連携推進部会に、第二次健康ふくしま21計画の改定のため、委員がオブザーバーとして出席しました。

健康経営推進部会の開催

◆＜新設＞健康経営推進部会の開催

働く世代への健康づくり推進のため、健康経営の普及啓発に向けた意見交換や健康経営優良事業所認定及び表彰の選考を行いました。

【令和元年7月31日開催】

開催場所：郡山市（ホテルハマツ） **対象：**委員16名（関係団体等）

協議内容：健康経営推進事業の取組に関する意見交換等

【令和元年10月21日開催】

開催場所：福島市（福島県庁） **対象：**委員16名（関係団体等）

協議内容：ふくしま健康経営優良事業所認定・表彰の2次選考

◆令和元年12月26日ふくしま健康経営優良事業所表彰式

出席：知事、福島民報社長、福島民友新聞社長、
東京大学古井特任教授（部会長）、協会けんぽ福島支部長

主食・主菜・副菜がそろったバランスのよい食事に減塩を加えた「ふくしま“食の基本”」を県民に浸透させ、日々の実践を通して、県民の食行動や栄養摂取状況を改善し、生活習慣病の発症・重症化予防を図るため、関係団体等と連携しながら、以下の事業を実施しました。

みんなで実践！ベジ・ファースト推進事業

野菜から食べ始めるベジ・ファーストを県民運動として推進しました。

- ◆ベジ・ファースト協力店の登録 209店舗
- ◆ベジ・ファーストの広報
 - ・フリーペーパー、口コミサイトでの特集記事 4回
 - ・新聞掲載 福島民報、福島民友 各3回
 - ・啓発ポスター等の掲示 JA福島等
- ◆ベジ・ファーストキャンペーンの実施 2回（①9月1日～9月30日 ②1月27日～2月29日）



ふくしま“食の基本”推進検討会の実施

参集者：市町村、医師会、歯科医師会、栄養士会、食生活改善推進協議会、県食育応援企業 等

実施内容：バランスのよい食事や減塩、ベジ・ファースト推進のための取組内容の検討、取組の進捗確認、評価 等



ふくしま“食の基本”推進キャンペーンの実施

実施者：各保健福祉事務所、検討会の構成メンバー等

実施内容：各種イベント、街頭キャンペーン、料理教室、講習会等によるバランスのよい食事や減塩、ベジ・ファーストの普及啓発 等



ふくしま“食の基本”推進運動の実施

実施者：県食生活改善推進連絡協議会（業務委託）

実施内容：家庭訪問、調理実習、街頭キャンペーン、各種イベント等によるバランスのよい食事や減塩、ベジ・ファーストの普及啓発 等



「無意識の減塩」環境づくり推進事業

実施施設：2施設（社員食堂） **実施期間**：令和2年1月～3月

実施内容：味噌汁の塩分濃度を6週間かけて段階的に減少させ、減塩効果の評価検証を実施



県民の健康意識の向上を図り、健康づくりの実践を促すことで、全国に誇れる健康長寿県の実現を目指すための「健康長寿ふくしま推進事業」では、関係団体等と連携の下、主に以下の事業を展開しました。



ふくしま健民パスポート事業

健康づくりに取り組む県民へインセンティブを付与し、取組意欲を高めるための普及啓発事業は、58市町村に参加をいただきました。また、啓発のツールである「ふくしま健民アプリ」は、スタンプラリー機能の追加、民間企業等と連携した10週連続ミッションなどを実施しました。

◆ふくしま健民アプリダウンロード数：36,295ダウンロード（令和2年3月31日現在） ◆協賛店1,691店舗（令和2年3月31日現在）

福島県版健康データベース事業

県立医大及び国保連合会（市町村）、協会けんぽ等の保険者と連携し、匿名化した健診、医療、介護の健康データ（県民の約74%）を収集、データベース化し、健康づくり事業に活用する体制を構築しました。また、医療レセプトデータを基に、二次医療圏別の生活習慣病発生率の分析を行いました。

◆二次医療圏別の生活習慣病発生率分析の公表（令和2年4月6日公表）※県立医大健康増進センターで分析

ふくしま健康長寿フェスティバルの開催

健康意識の向上及び企業、団体等が主体となった健康づくりや介護予防の継続的な取組と定着を図る契機とするため、関係団体・企業等と連携し、会津若松市と共催でフェスティバルを開催しました。

◆メインイベント：令和元年9月28日（土）・29日（日） 来場者6,000人
◆アフターイベント：令和元年10月19日（土）・20日（日） 来場者3,000人

ふくしま健康経営優良事業所認定・表彰事業

県内に健康経営に取り組む事業所を醸成するため、協会けんぽ等と連携し、従業員に対して積極的な健康増進に取り組んでいる中小企業を健康経営優良事業所に認定するとともに、特に取組が優秀な事業所を県及び福島民報社、福島民友新聞社が表彰しました。

◆認定・表彰事業所の2次選考：健康長寿ふくしま会議「健康経営推進部会」（令和元年10月21日）
◆認定事業所：98事業所
◆表彰事業所：伊達貨物運送株式会社（県知事賞）、大槻電気通信株式会社（福島民報社賞）、社会福祉法人郡山福祉会（福島民友新聞社賞）
◆表彰式：令和元年12月26日開催（福島市 ザ・セレクトン）



「ふくしま健民」プロジェクト事業

「ふくしま健民プロジェクト大使」等を活用し、報道機関に加え、SNS等あらゆる機会を活用した健康づくりの普及啓発を行いました。

◆健康づくり普及啓発動画「健康づくりをはじめっぺ♪」を新たな振付を加えて制作
・TVCM：県内4放送局合計340回（令和2年1月29日～2月29日）
・Web：県広報課YouTubeチャンネルふくしま健民アプリサイトに掲載
・県内スーパー：県内6社161店舗へモニターを配送し、売り場で放送（令和2年2月上旬～3月31日）
◆ふくしま健民検定の実施 令和2年2月6日～2月28日 参加者4,307人



福島県

令和2年度 健康づくり事業計画

注意事項

この事業計画資料は、福島県議会2月定例会において予算が成立した時点(3月19日)の計画です。新型コロナウイルスへの対応など、今後の状況に応じて事業計画に変更が生じる可能性があります。

健康長寿ふくしま推進体制強化事業



健康長寿ふくしま会議

推進体制強化

食・運動・社会参加に関する団体の新たな加入や健康経営部会創設による機能強化と情報発信力の強化

◆ **各専門分野の37団体が共働して地域と職域が連携した健康づくりの取組を企画・実践・評価**

知事をトップとし関係団体代表者で構成する新たな推進体制

<下部組織>

<地域・職域連携推進部会>

- ・保健事業の情報交換・支援
- ・健康データの分析・評価
- ・健康課題の共有・対策検討

<健康ふくしま21評価検討会>

- ・健康ふくしま21計画の評価検討
- ・健康ふくしま21計画の見直し検討

<健康経営推進部会>

- ・健康経営の普及啓発
- ・健康経営優良事業所認定・表彰
- ・健康経営の取組支援

連動

トップセミナー

連動

地域保健の取組

県・市町村・保健団体等による取組

内容: 各種保健サービス活動及び各健康づくり事業の推進強化
<県事業例> 健康長寿ふくしま推進事業、ふくしま食の基本推進事業
被災者健康サポート事業
その他食・運動・社会参加を柱にした各健康づくり事業

効果: 県民の健康寿命の延伸と健康格差の縮小

啓発

啓発

職域保健の取組

企業・事業所等による取組

内容: 企業の健康経営による働く世代とその家族への健康増進
<県事業例> 「元気で働く職場」応援事業
ふくしま健康経営優良事業所認定・表彰
空気のきれいな施設・車両認証制度

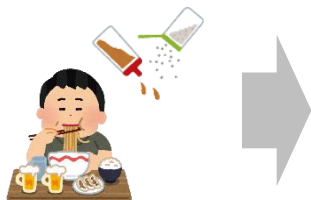
効果: 働く世代及びその家族の健康寿命の延伸と健康格差の縮小

連携

全国に誇る健康長寿県の実現

【課題】

- 食事バランスの乱れ
- 若い世代の野菜摂取不足
- 塩分の過剰摂取



【目指す姿】

ふくしま“食の基本”の「実践」により
生活習慣病の発症・重症化予防を図る

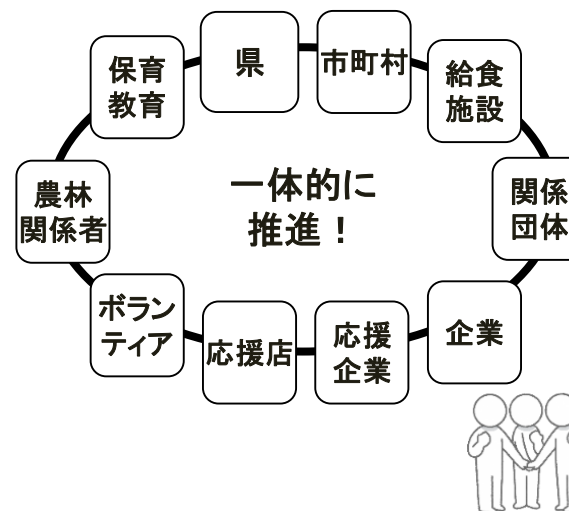


ふくしま“食の基本” = バランスのよい食事「主食・主菜・副菜」+「減塩」

【拡充】食事バランス改善の啓発と実践

ふくしま“食の基本”推進キャンペーン 6,662千円

- ・関係機関との連携による適正体重を維持するための食事バランスの普及啓発の実施。
- (新)高齢者に特化した広報
- ・食生活改善推進員委託による普及啓発運動の展開
- ・栄養士養成施設との連携によるメニュー開発・社食等での提供



【拡充】食べ方の提案と実践、環境整備

みんなで実践! 「ベジファースト」推進事業 14,645千円

- ・ベジ・ファースト(野菜を先に食べる食べ方)について、メディア等による広報、スーパー等でのPR
- ・飲食店、社員食堂、学校給食等におけるベジ・ファーストの実践
- ・ベジ・ファースト協力店の開拓 200店舗→400店舗へ
- (新)SNSを活用した広報 ベジファースト広報の協力店のクーポン付き広告を配信



【継続】減塩のための食環境整備

「無意識の減塩」環境づくり推進事業 6,244千円

- ・弁当、惣菜、給食を段階的に減塩
- ・販売・提供実績等の推移と減塩効果の分析・評価の実施
- ・商品・販売として定着化及び調理技術等のノウハウの共有化を図り、「無意識の減塩」環境づくりを推進



【継続】人材育成・推進体制整備

事業推進のための体制整備事業 1,568千円

- ・ふくしま“食の基本”の推進体制整備のための検討会の実施
- ・ふくしま“食の基本”推進のため、食の指導者等を対象とした研修会の開催



生活習慣病予防対策推進事業（地域保健・職域保健連携推進）

拡充/一部新規

- (1) 健康経営優良事業所の認定及び表彰
- (2) 【元気で働く職場】応援事業（職域）
 - ・保健所が核となり、職域保健等と連携した積極的な職域への働きかけやフォローアップ（職場訪問や巡回）の拡充
 - ・専門家や民間のノウハウを活用した健康経営推進のための健康づくりパッケージの提供等への補助
- (3) 先駆的健康づくり実施支援事業（市町村）
 - ・民間のノウハウを活用したモデル事業の対象市町村の拡充（23→30市町村）
 - ・（新）東京大学と連携した健康づくり及び健康経営施策の事業評価
- (4) 健康長寿サポーターの育成（アルコール・たばこ等含む）
- (5) 糖尿病重症化予防事業
 - ・かかりつけ医が、糖尿病治療に関する知識を習得できる機会を設け、専門医及び市町村との連携強化を図る。

平成30年度ふくしま健康経営優良事業所



ふくしま【健】民パスポート事業

インセンティブの付与による
県民の健康意識の改革・向上



- ふくしま健民アプリの活用・機能充実
- 参加市町村（58/59）との連携
- 企業（連携企業相手先等）との連携
ふくしま健民アプリ大感謝祭等
- 他部局との連携
（商業まちづくり課/まちづくり推進課）

【インセンティブ】…パスポート提示で協力店舗特典、アプリミッションクリアを対象に抽選で景品プレゼント。

「ふくしま健民」プロジェクト事業

拡充

- (1) 周知・PR・広報活動の強化
 - ・県庁及び職員による階段等利用を促す広報の実証実験
 - ・「ふくしま健民プロジェクト大使」を活用し、報道機関やSNS等を利用した普及啓発活動
 - ・吉本興業など包括連携協定を活用した普及啓発活動



- (2) ふくしま健民検定
 - ・健康増進センターの監修による、新聞をや健民アプリを活用した県民及び企業参加による「検定」事業の実施

ふくしま健康長寿フェスティバル開催事業

健康長寿フェスティバルの実施
・健康づくりへの機運醸成を目的とし、地元自治体、民間事業者等を巻き込んだイベントを実施。

- ・介護予防表彰イベントと一本化し、対象世代を拡大。



福島県版健康データベース（FDB）構築・活用事業

地域単位の健康状態の『見える化』

- 健康データの収集・蓄積
- FDBの構築

↓
R1～本格運用開始

- 健康データの分析・評価
- 地域別の健康課題を抽出



ふくしま健康情報ステーション事業

「健康増進センター」

県立医科大学との連携

- 科学的根拠に基づく評価・分析
- ・健康データ分析・評価
- ・健康データの「見える化」による情報発信
- ・循環器疾患発症登録
- ・健康長寿延伸等のための調査
- 効果的な健康増進対策・疾病予防対策の推進
- 人材育成支援

